

第9回公害資料館連携 フォーラムin福島



日程:2023年12月16日(土)・17日(日)
会場:福島大学L講義棟(福島県福島市金谷川1)

参加費:一般3,000円(資料集あり)、公害資料館ネットワーク会員2,000円(資料集あり)、
学生無料(資料集が必要な場合は別途購入)

< 基調講演 >

『当事者感覚獲得のために』～災いの記憶を語り継ぐ意義とその伝え方～
山内宏泰さん(リアス・アーク美術館館長)

< 教育分科会 >

原発事故を教えることをめぐる困難の〈現在〉に向き合う

ゲスト 前嶋匠さん(東大寺学園中・高等学校) 渡部純さん(福島県立福島東高等学校)

押部逸哉さん(福島県教職員組合・放射線教育対策委員会) 木村紀夫さん(大熊未来塾)

原発事故から10年以上が経過し、福島で公害教育に取り組む／取り組もうとする教師たちは新たな困難に直面しています。本分科会では、まず、研究者と現場教師の双方からこの困難の〈現在〉についてご報告いただきます。その上で、公害資料館の立場から「連携」のあり方等に関する論点を提起していただき、参加者全体で議論を深めます。

< 資料分科会 >

災いの資料を未来づくりに一福島と尼崎での取り組み

ゲスト 瀬戸真之さん(東日本大震災・原子力災害伝承館) 河野未央さん・松本望さん(尼崎市立歴史博物館)

公害、震災、原発事故のような、私たちの暮らしを脅かす災いの記憶を伝えるものの一つに資料がありますが、それは経験を活かした未来づくりにどれほど役立っているのでしょうか。この分科会では、公害および震災・原発に関する資料の収集・整理・保存・公開について、2つの館に取り組みをお話いただき、「災害を伝え、未来をつくる」ために資料を使ってできることを考えます。

< 現地見学 > 大熊未来塾による大熊町フィールドワーク

< ランチミーティング > 津島原発訴訟の原告団長、今野秀則さんのお話を聞きます。

< タイムスケジュール >

12月16日(土)

朝出発現地見学(福島県いわき市出発)

15:00～17:00開会、基調講演

17:30～19:00交流会

12月17日(日)

9:30～12:00分科会

12:15～13:15ランチミーティング

13:30～15:00全体会

要事前申し込み：後日、公害資料館ネットワークのHPに詳細を掲載します。

(公害資料館ネットワーク会員にはMLでお知らせしますので、会員になってください！)



地球環境基金助成事業

主催:公害資料館ネットワーク、第9回公害資料館連携フォーラム in 福島実行委員会
共催(予定):公益社団法人日本環境教育フォーラム、一般社団法人日本環境教育学会
後援:福島大学、福島県、(以下、予定)環境省、ESD活動支援センター、東北地方ESD活動支援センター、全日本博物館学会、日本アーカイブズ学会、日本展示学会、原子力市民委員会、メディア関係
協力(予定):地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)、東北環境パートナーシップオフィス(EPO 東北)

●公害資料館ネットワーク 参加公害資料館:28 団体

●公害資料館連携フォーラム in 福島実行委員会

実行委員長 山川充夫(福島大学名誉教授)・副実行委員長 後藤忍(福島大学)

< 連絡先 >

●公害資料館ネットワーク事務局

〒712-8033 岡山県倉敷市水島東栄町 11-12みずしま財団内

TEL:086-440-0121 FAX:086-446-4620

メールアドレス:kougaishiryoukan@gmail.com

●実行委員会現地事務局 藤原遥(福島大学)